



# NPO法人ジャパンデンタルミッション

## 海外活動報告書

場所 ヴァヌアツ共和国

期間 2010年3月20日～3月25日

参加メンバー 沢田宗久、栗山雅行

JDM とヴァヌアツとの間で調印している Oral Health Program の大きなイベントとして、下記の2件の式典のためにポートヴィラとタンナ島を訪問した。

### 1. 寄付品の授与

JDM を含め、日本国内の29の企業、ロータリークラブ、学校、個人の方々からの多くの寄付品（約2400万円相当の歯ブラシ、ノート、文房具、ボール、口腔衛生啓蒙ポスターなど）を40フィートのコンテナに詰めてヴァヌアツ保健省、教育省に贈った。

3月22日にWHOのコンフェレンスルームに於いて保健省主催で授与式のためのセレモニーが行われた。JDMからは沢田代表の挨拶、ヴァヌアツ保健省からは次官の挨拶が交わされた。その後、歯ブラシ、鉛筆を段ボール箱1個ずつ授与し、他の寄付品については目録として詳細のリストを贈った。

主な出席者は下記。

JDM	沢田代表、栗山理事
保健省	次官 Mr.Mark Bebe、首席役員 Rory 氏、Toumel 氏
WHO	連絡将校 Mr.Bemard Fabre
JICA	中村所長、神保氏
税関	役員 Mr.Ben Leeshi
教育省	次官 Mr.Russel Ngari、首席役員

この模様は後日、新聞記事に載る予定。



沢田代表の挨拶



栗山理事の挨拶



寄付品を JDM からヴァヌアツ保健省、教育省に授与

今回、寄付をして頂いた団体、個人の皆様（敬称略、順不同）

株式会社クリエイト	不二印刷株式会社	株式会社アド・ダイセン
株式会社ナカガワ	セキスイ株式会社	大日本除虫菊株式会社
大阪船場ロータリークラブ	八尾ロータリークラブ	コクヨ S&T 株式会社
大阪府歯科医師会	大平工業株式会社	全日本ブラシ工業協同組合
シンク株式会社	株式会社 GreenPath	株式会社サクラクレパス
ハグルマ封筒株式会社	大阪市立開平小学校	大阪市立中央小学校
大阪市立玉造小学校	大阪市立南大江小学校	大阪市立中大江小学校
大阪市立高津小学校	大阪市立南小学校	八尾市立西山本小学校
大阪市立昭和中学校	橋本 雄司	大磯 隆一

## 2. タンナ島レナケル病院の母子保健センターの拡張工事完了セレモニー

主な出席者

保健省大臣 兼 Tafea 州知事	Mr. Hon Ken Osea
保健省地方局長	Mr. Esau Naket
JDM	沢田代表、栗山理事
JICA	神保氏
保健省 州首席役員、政府役員代表、Nicholetan 議会 会長、議員	

国際ソロブチミスト アメリカ 日本中央リジョン 大阪-梅田 殿の寄付により、母子保健センターの建物の拡張が行われた。新しく建て増しされた部分は患者の相談室、ファミリープランニングルームとして活用される。 トイレやシャワールームも設けられている。

このオープニングセレモニーが3月23日に行われた。

ヴァヌアツ保健省大臣の挨拶かた始まり、JDM 沢田代表の挨拶、レナケル病院の責任者 Esau Naket 氏の挨拶が行われた。その後、テープカットの後、沢田代表から保健省大臣に鍵が手渡された。式典後、ヴァヌアツ伝統の飲み物である、カバを保健省大臣、JDM チーム、レナケル病院幹部で飲み交わす儀式があり、歓迎の伝統料理であるラプラブが提供された。

このセレモニーの様子は3月24日正午のヴァヌアツ TV のニュースで放映された。



沢田代表から保健大臣に鍵の受渡



保健大臣、レナケル病院代表者と寄贈ボードの前で



建て増しされたファミリープランニングルーム



建て増しされた建物の外観

### 3. レナケル小学校への寄付

レナケル小学校においては全生徒（幼稚園児も含め）に集合してもらい、鉛筆、歯ブラシの寄付を行った。子供達は大変な喜びようで歓声を上げ、興奮していた。



歯ブラシ、鉛筆を子供達に寄付

#### 4. VILA Central Hospital とのミーティング

もう一つの大きな目的はヴィラ中央病院の酸素製造装置についてのミーティングである。現状、酸素製造装置の部分的な故障により、酸素タンクの不足で、病院での手術が十分に出来ない状態であった。訪問前には故障中の装置の部品の交換を依頼してきており、要する費用は約 200 万円と聞いていた。しかし、装置はかなり古く、修理の繰り返しで、修理代も累積するとかなりかさんでいた。今回、日本から 200 万円の寄付の目処は立っていたが、この状況で修理を行っても、いつまで正常動作が続くかは疑問であるという病院側、JDM の見解を出した。実際、2010 年 2 月に修理を行った部品は動作したが、また別の部品が故障中であった。これでは資金の無駄遣いになると判断し、故障修理のための寄付は止めることに決定した。現状は酸素を外部組織から年間 Vt24,000,000 分購入している。装置を新しい物と入れ替えるには約 Vt60,000,000 (オーストラリア製) 必要との話であったが、仕様の詳細を調査し、他社製で安価で購入可能かどうかを今後検討することを JDM として協力することを約束した。1 日に 15 シリンダー (15,000Litter) の酸素を作る能力があれば、外部組織から購入する必要はなくなる。



#### 5. 教育省大臣 Mr. Roy Obed とのミーティング

今回の寄付品の輸送料については保健省と教育省で折半するとのこと。寄付品の配布については、ポートヴィラなどの恵まれた地区よりも地方の恵まれない学校を優先的に配布を行いたいという意向であった。これには我々も賛同した。まずは教育省から州事務所に送り、そこから各学校に配布される。ヴァヌアツでは今まで授業料は有料であったが、今年から無料となる。体育、保健などの授業も始まるので、寄付品を授業の中でも使っていきたい。現状はフランス系とイギリス系で教育期間が違っているが、2012 年を目標に統一しようとしている。日本とヴァヌアツの小学校の文化交流は大変興味深く、ありがたく思っている。7 月 30 日には独立記念の行事が行われるので、JDM の活動は、できれば 2 週間前くらいに来て頂ければありがたい、という内容であった。



Rory 氏、栗山、教育大臣、沢田、JICA 神保氏